

令和6年度
ふれあい読書研究会
(まとめ報告書)



熊本県PTA連合会

令和6年度ふれあい読書研究会

目次

☆委嘱校

☆活動報告



1. 玉名市立高道小学校PTA 1
2. 玉名市立大野小学校PTA 2～3
3. 玉東町立玉東中学校PTA 4
4. 山鹿市立山鹿中学校PTA 5
5. 菊池市立菊池北中学校PTA 6～7
6. 菊陽町立菊陽中部小学校PTA 8
7. 益城町立益城中学校PTA 9
8. 宇土市立走瀉小学校PTA 10～12
9. 宇城市立豊川小学校PTA 13
10. 天草市立佐伊津小学校PTA 14
11. 天草市立本渡南小学校PTA 15～16
12. 天草市立倉岳小学校PTA 17
13. 八代市立太田郷小学校愛育会 18
14. 人吉市立第一中学校PTA 19
15. あさぎり町立岡原小学校PTA 20～21
16. 五木村立五木東小学校PTA 22

令和6年度ふれあい読書研究会委嘱校

	ブロック	エリア	単位PTA名
1	県北	玉名市	玉名市立高道小学校PTA
2		玉名市	玉名市立大野小学校PTA
3		玉名郡	玉東町立玉東中学校PTA
4		山鹿市	山鹿市立山鹿中学校PTA
5		菊池市	菊池市立菊池北中学校PTA
6		菊池郡	菊陽町立菊陽中部小学校PTA
7		上益城郡	益城町立益城中学校PTA
8	県南	宇土市	宇土市立走潟小学校PTA
9		宇城市・下益城郡	宇城市立豊川小学校PTA
10		天草郡市	天草市立佐伊津小学校PTA
11		天草郡市	天草市立本渡南小学校PTA
12		天草郡市	天草市立倉岳小学校PTA
13		八代郡市	八代市立太田郷小学校愛育会
14		人吉市	人吉市立第一中学校PTA
15		球磨郡	あさぎり町立岡原小学校PTA
16		球磨郡	五木村立五木東小学校PTA

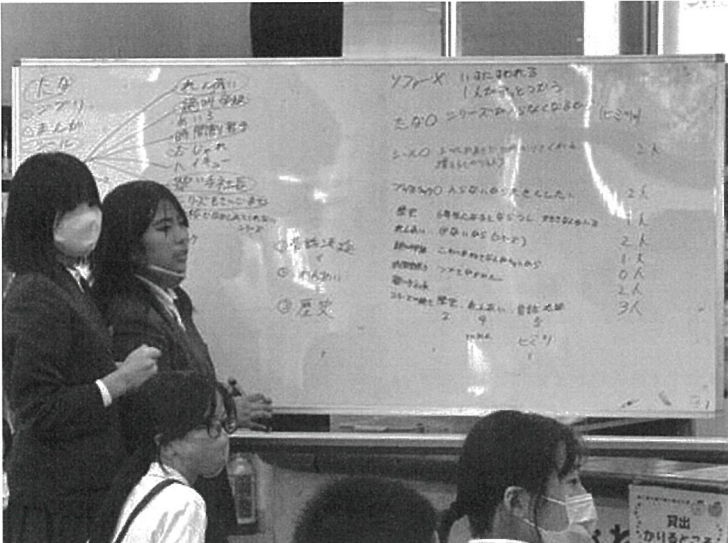
ふれあい読書研究会活動報告書

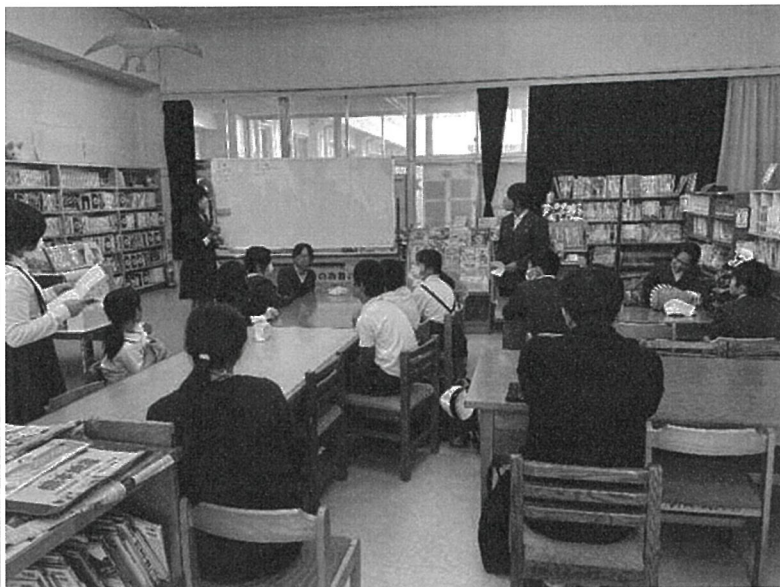
令和6年度

単位PTA名 (玉名市立高道小学校PTA)	児童生徒数 (182) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000 円	(支出) 読書まつり講師謝礼 10,000 円
単P	図書購入費 40,000 円
その他	
合計 50,000 円	合計 50,000 円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎ 活動内容</p> <p>【目的】 地域を巻き込んだ「読み聞かせ」等を活発にしたり「読書をする習慣」を一層充実させたりすることにより、子どもたちの健全育成をめざす</p>	
<p>① 朝の読み聞かせ 保護者による月1回開催</p> <p>② 夏休み親子読書</p> <p>③ ノーメディアデーとのタイアップ</p>	
<p>④ 読書まつり 令和6年11月26日 (火) 田中順子先生、小北保博先生による読み聞かせ</p>	
<p>⑤ 読書だよりの発行</p>	
<p>◎ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通しての読み聞かせや児童図書委員会の企画などがあり、読書量が増え、確実に読書好きな児童が増えてきている ・ 児童は1年生から6年生まで大変読み聞かせを楽しみにしている。さらに、読み聞かせのボランティア活動を充実させていく ・ 長期休業日の取り組みや読書月間などを設けることで、児童や保護者が意欲的に読書活動に取り組むことができた 	
<p>◎ 反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読み聞かせに興味を持っている保護者や地域の方に呼びかけて、より多くの方々が気楽に参加できるようにし、ボランティア活動を充実させる ・ 児童は読み聞かせの時間には熱心に聞いている。一方で読書量には多少の個人差が見られる図書に関する取り組みを発展させ、一人一人の読書意欲の向上に努めたい 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の取り組みにより、一定の成果が見られたが、学校図書の貸出数向上の課題も残っている ・ 今後は、本校の取り組みを継続していくとともに、児童会図書委員会を中心に、児童が主体となって計画・運営する取り組みにも力を入れ、読書量の向上につなげていきたい 	
4. 要望・その他	
<p>今後も、色々なイベントを考える上で、ご支援・ご協力をいただけると幸いです 大変、お世話になりました。ありがとうございました 3年後に、再度、本活動に申請できるように、さらに充実した活動を引き継ぎしていきます</p>	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (玉名市立大野小学校PTA)		児童生徒数 (228) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 50,000 単P 3,016 その他	(支出)	書籍購入費 45,078 図書ラベル 460 シール 1,120 カラーボックス 6,358
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
① ボランティアによる読み聞かせ (月2回実施)			
② 学年ごとのおすすめ本の紹介コーナーの設置			
③ 読書量達成ごとの手作りしおりなどのプレゼントを実施			
④ 「ふれあい読書研究会」を受けて、図書員がクラスの意見をまとめて取組みを決定実施			
◎成果			
① 「ふれあい読書研究会」の取組みについて児童主体で考え実施することができた			
テーマ 図書室の活用や、読書する児童が増える方法を考えよう!			
内容 ・通いたくなる図書室にするための意見やアイデア			
・新しい本の選び方の意見やアイデア			
・予算(5万円)を使って、どんな本を買うのか、図書室に欲しいものはないのか、価格も児童で調べる			
事前に図書員がクラスの意見やアイデアをまとめて参加。各クラスの意見を共有し、その中から優先順位を決めていった。			
※先生とPTA役員はオブザーバーとして参加			
〈感想〉 様々な意見やアイデアがたくさんあり驚かされた。本の選定も子どもたちならではのもので、子どもたちが今本に求めているものが解った。予算も子どもたちが自由に考えて使い道を決められることは主体的にやる気を持つことに繋がったようだ。			
			



「ふれあい読書研究会」の取組みについて話し合う図書員の児童

②教育講演会の開催が実施できた

12月6日（金）14：00より

大野小学校体育館

参加者 保護者と先生

演題「未来を拓く読書の力 ～本でつながる家族のこころ～」、

熊本県教育庁 市町村教育局社会教育課審議員兼課長補佐 田原 里恵 氏

〈感想〉 読書運動の啓発に大いに役立つ内容であった。ビブリオバトルの実践を初めてやらせて頂き、「本をもっと好きになる」そんな取り組みだと感じた。

◎反省

各種PTAの多行事の影響で進捗に遅れがあった。家庭教育部との連携が密に取れていなかった。

3. 今後の取組みについて

- ① ビブリオバトルの導入
- ② 読み聞かせボランティアの増員

4. 要望・その他

県PTAより予算が付くことで、図書・読書運動の充実が図ることができた。
毎年エントリー出来るようにならないかとの声もあった。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (玉東町立玉東中学校)	児童生徒数 (157) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 単P 5万円 その他	(支出) 5万円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>①保護者や地域の読み聞かせ会 (山北苺の会) による朝の読み聞かせ実施 (毎月1回朝8:20~8:30)</p> <p>②学校図書館での「教職員によるおすすめの本」の紹介</p> <p>③学校生徒会図書委員会による読書多読コンクール (夏休み期間中)と学級多読コンクールの実施 (10月読書月間)</p> <p>④教職員による紙芝居の読み聞かせ</p>	
<p>◎成果</p> <p>○保護者や地域読み聞かせの会が生徒への朝読み聞かせ活動を行うことで、読書に親しみを持つようになった。</p> <p>▲読み聞かせ活動に理解のある特定の方の活動が多く、活動の広がりが今後の課題である。</p> <p>○今回、紙芝居ができる環境を設定した事で、生徒同士が休み時間などに活用して楽しく活動するようになった。</p>	
<p>◎反省</p> <p>○保護者や地域読み聞かせの会が生徒への朝読み聞かせ活動を行うことで、読書に親しみを持つようになった。</p> <p>▲読み聞かせ活動に理解のある特定の方の活動が多く、活動の広がりが今後の課題である。</p> <p>○今回、紙芝居ができる環境を設定した事で、生徒同士が休み時間などに活用して楽しく活動するようになった。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
<p>○今回、紙芝居セットと紙芝居物語を多数購入することが出来た。校内での活用は、もちろんだが、中学生が小学生に紙芝居を用いて出前読み聞かせ事業として発展させるアイデアもある。</p> <p>○中学生ボランティアとして福祉センター等にも介護読み聞かせとしての活用を考えている。</p>	
4. 要望・その他	
<p>○大変心苦しい要望ではあるが、現在は12月の中間発表時に活動支援金を受け取っているが可能であれば、年度の早めにいただけると実益が増すのではないだろうか。</p>	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (山鹿市立山鹿中学校PTA)		児童生徒数 (724) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入) 県P 50,000円 単P その他		(支出) 54,274円 ※不足分は単Pより補填	
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容・成果			
<p>①「Let's go to the library on ○○days.」 この活動を実施したことにより、図書館担当者のみならず、担任の先生方が子どもたちへ図書室へ行くように促す場面が増えた他、朝の時間に自分の学級を図書室へ連れて行く場面が増えた。 その結果、本の返却・貸出のサイクルが以前より確率され、延滞本が昨年度に比べると減少傾向になった。</p> 		<p>②「読書クラスマッチ」・景品の設定と配付 図書委員会で2回「読書クラスマッチ」を行った。クラスマッチ形式で競うため、子どもたちの興味感心も高く、この時期には、月の貸出冊数も伸びる傾向にある。しかしながら、他の委員会が行うクラスマッチ企画より盛り上がり欠ける部分があり、リーディングトラッカー配付などを付け加える形で設定した。その結果、昨年の同時期よりも貸出冊数が増加した。</p> 	
<p>③『先生方ご協力 おすすめ本クイズ』 今年度、新たな企画として、担任の先生方に協力していただき、おすすめ本の紹介ポスターを作成した。そして、そのポスターを元に、どの先生がおすすめした本なのかをクイズ形式で出題し、正解者へ菓を配付した。 先生方のおすすめ本を展示するコーナーも設置した。普段は自分にとって手に取らないジャンルも、先生方のおすすめということで借りて行く生徒の姿があった。</p> 		<p>④夏休み期間中の学校図書館開放 (※「クールシェア」) 夏休み期間中に6日間、学校図書館の開放を行った。気温が高い日が続いていたこともあり、部活動後にクーラーの効いた図書室で勉強をする生徒の姿があった。また、勉強するだけではなく、本を借りる生徒もいた。</p> 	
<p>⑤季節に合わせた菓の作成と配付 4月～12月にかけて、3回の菓の作成と本を借りに来た生徒への配付を行った。夏は「かき氷」、10月は「読書週間」、冬は「クリスマス」というようにその季節に合わせた菓の作成を行うことで、季節毎に楽しむことができるようにした。また、2～3月にかけて、3年生へむけた卒業を祝うメッセージ菓の作成を予定している。 本を借りに来て、菓をもらった際には、喜ぶ生徒の姿があった。</p>		<p>⑥読み聞かせのテーマに合わせた本コーナー 本校では、年に数回、朝の時間に学校応援団「さくら会」による読み聞かせが行われている。その読み聞かせにおいて、毎回、テーマが設定されており、今年度は読み聞かせに使用された本やそのテーマに関連する本を集めたコーナーを設置した。全18クラスあるため、自分のクラス以外で読まれた本にも興味を示す生徒がいた。</p> 	
⑦読書リレー 1月末～2月を中心に体育大会の縦割り形式の団編成を活用し、団対抗で読書量を競う企画を行っている。各クラスでの読書クラスマッチと似た企画を団対抗にすることで縦のつながりの意識が加わったように思う。			
◎反省 企画を実施できている月は、貸出冊数が比較的增加する傾向にあるが、常時本を借りに来ている生徒は、限られている。また、先生方によっても図書室の利用に対する関心にばらつきがあることから、教職員側への働きかけも必要であると感じた。さらに、今年度は、毎月3000冊を貸出冊数の目標に設定して活動を行ってきたが、目標を超えた月というのはかなり少ないのが現状である。貸出冊数は毎年増加しているが、今後もさらに増加し、子どもたちが本に出会う機会を増加させたいと思う。今年度、新たな企画をいくつか実施しているが、生徒の反応はそれぞれであり、その反応に合わせて企画を改善していくことで、学校図書館の更なる活性化に繋げたい。			
3. 今後の取り組みについて 以前に比べると学校図書館を利用する生徒は増加しているように感じるが、その一方で学校図書館に足を運ばない生徒もいる。子どもによって興味関心が異なるため、「全員が」というのは困難な部分はあるかもしれないが、より多くの子どもたちが利用する場になるように学校図書館の運営を行っていきたい。本校では、朝読書・給食準備中の読書など、全校一斉に読書を行う時間が確保されている。しかし、他の活動との重なりによって実施が疎かになってしまう部分がある。貴重な時間が設定されているからこそ、毎日の取り組みであるこの部分を大切に活動していきたいと思う。今年度、新たな企画も含め、様々な企画を行ってきた。来年度に向けて、各企画の反省を生かしながら、レベルアップした企画が実施できるように改善していく。			
4. 要望・その他 ふれあい読書研究会の委嘱を受け、様々な立場の方々と連携・協働した企画の実施や運営の機会となった。また、これを機会に図書委員を中心に子どもたちとも学校図書館について話すことができ、企画にも多くの声を反映することができた。今後も、学校図書館の充実、生徒の読書活動の推進に努めていきたい。			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (菊池北中学校)	児童生徒数 (108) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円	(支出) 図書購入費 30,000円
単P 30,000円 その他	読み聞かせ・ふれあい読書用書籍等 50,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
<ul style="list-style-type: none"> ①読み聞かせボランティアの方による読み聞かせ (年4回 20分間) ②ヨリミチライブラリー (毎週決まった曜日の昼休みや放課後) ③親子ふれあい読書DAY (毎月第一木曜日 ノーメディアデーに実施) ④図書委員会によるイベント (年3~4回) ⑤図書委員会によるNIE活動・SDGsとの関連を意識して行う (毎週木曜日) ⑥図書委員長による本の紹介やイベント案内などの放送 (毎日 給食の時間) ⑦オープンライブラリー (授業参観時に・年4回) 	
◎成果	
<ul style="list-style-type: none"> ①毎年読み聞かせボランティア「MUMの会」の皆さんが年4回読み聞かせや語り部を実施し毎回、集中し聞くことができている。ボランティアの方々も毎回意欲的に参加して頂いています。 ②教職員や図書委員会の呼びかけで、ほとんどの生徒が昼休みか放課後に本を借りに来てくれます。 ③共働き家庭が多いため、一緒に過ごす時間が少なくなっているため「親子です」という点で保護者や生徒からは好意的なコメントが書かれています。 ④「貸出冊数を伸ばす事」と「楽しみながら図書室を利用する」が図書委員のアイデアで実施されています。 ⑤NIE活動をすることで「どのようなことがSDGsとつながるか？」を意識しておこなえています。 ⑥給食の時間に実施しているので、生徒や教職員の注目度は高いです。図書室利用に繋がっています。 ⑦図書室に「どのような本があるか?」「生徒たちが昼休みをどのように過ごしているか?」などを見ることが出来る良い機会になっています。 	
◎反省	
<ul style="list-style-type: none"> ①選書はボランティアの方に任せているが、公共図書館や私物の本を利用されているので図書室の本からも選書できるように蔵書を増やしたいと思います。 ②借りに来ていない生徒も数名いるので、声掛けや興味がわくような展示をしたいと思います。 ③共働きで忙しい家庭が多いので、「できません」とのコメントもありました。一緒に出来ない時は生徒のみの感想を書いてもらうようにしました。 ④イベント準備に参加している生徒としていない生徒がいるので、図書委員が全員参加して行える体制を整えたいと思います。 ⑤こちらも同上です。 ⑥委員長がいつもしているため委員長以外の生徒にも挑戦してもらいたいと考えています。 ⑦オープンライブラリーに来られる保護者の方は少ないので、おたよりなどでもっと発信力を高めていきたいと思っています。 	

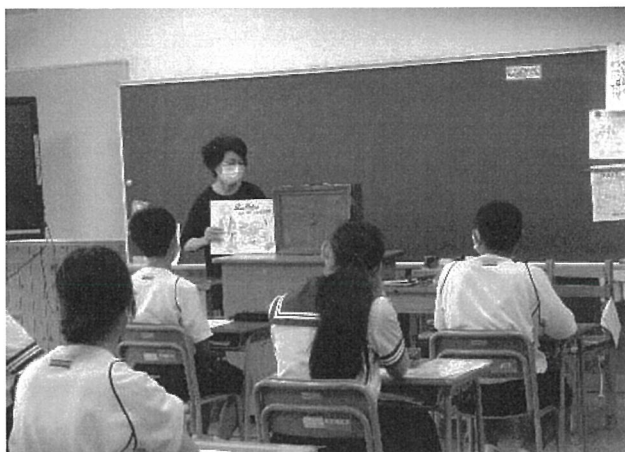
3. 今後の取り組みについて

- ・読み聞かせボランティアの方や保護者、教職員のおススメの本を増やしていこうと思います。
(ボランティアの方々には購入希望の書籍をお聞きし購入につなげています。)
- ・保護者への読書推進も進めていきたいのでおたよりやイベントを使い親子のコミュニケーションの時間を増やすことにも繋げていきたいと思います。
- ・「本に興味がない生徒」に向けての読書推進方法を図書委員と考え話し合いを進め計画を立てています。

4. 要望・その他

- ・「ふれあい読書研究会」の委託を受けられたことで、読書推進のために長年活動していただいている読み聞かせボランティアの方々の希望の図書の購入をすることができました。保護者の方にも希望図書をお聞きし購入につなげることで学校図書館をより身近に感じていただけたと思います。このような機会を頂けたことに心より感謝申し上げます。

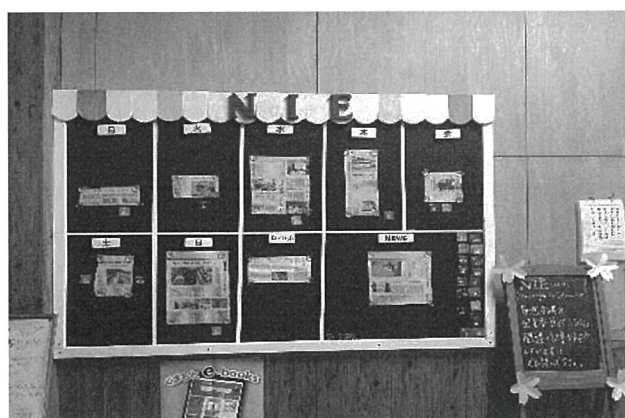
【読み聞かせボランティアの活動】



【学校全体の貸出冊数表の展示】



【図書委員会のNIE活動】



【図書委員会による読書パズルイベント】



ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名（ 菊陽町立菊陽中部小学校 ）	児童生徒数（ 798 ）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
(収入) 県P 50,000円 単P 20,000円 その他	(支出) 紙芝居舞台×4台 50,600円 絵本（平和学習）×3冊 4,290円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容(読み聞かせボランティア「おはなし宅急便」の活動内容)	
<ul style="list-style-type: none"> ● 朝の読み聞かせ活動…毎週火曜日8:35～8:50。1～6年、全23クラスで実施。（1月末現在22回実施済み。全27回予定。） ● おはなし会…通常の読み聞かせの時間帯に、大型紙芝居や大型絵本を用いたスペシャルおはなし会を実施。3～5年生は、2クラス合同で実施。1・2年生は各教室で実施した。 ● 6年生スペシャルおはなし会…3/11の最後の読み聞かせの日に実施。各クラスの保護者を中心に大型紙芝居などを企画。手作りのしおりをプレゼントする。 ● 読み聞かせボランティアの勉強会・情報交換会…町図書館や県教育委員会主催の読み聞かせ講座への参加。校内ボランティアの情報交換会を年2回実施。 	
◎成果	
<ul style="list-style-type: none"> ● 年度途中も読み聞かせボランティアが増えたため、最終的には52名のボランティア（内訳：保護者49名、卒業生の保護者3名）が集まり、充実した活動をすることができた。活動時間が出勤前の朝の時間であること、月に1回しかできなくてもボランティアに参加することを可能にしたことで、参加しやすくなったようだ。 ● 読み聞かせボランティアが増えたため、欠席者が出た場合も代理の読み手を立てることができ、読み聞かせが中止になるクラスがほとんど無かった。 ● 紙芝居の舞台を使用することで、子どもたちが紙芝居をより集中して楽しめたようだ。また、4台導入したことで、使用を希望する読み手が遠慮せずに使うことができた。 ● おはなし会は、3～5年生を2クラス合同で実施することで、シフトに余裕を持たせることができた。子どもたちは場所移動などがあったが、負担無く楽しめていたようだった。 ● 当団体が所持している平和学習の本は高学年向けのものが多かった。低～中学年も理解しやすい絵本について検討した。経験豊富な読み手の方から助言を頂き、実際に読んでみて子どもたちに内容が伝わりやすかったものを購入した。 	
◎反省	
<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティアの人数が増えたことで、連絡調整に係るお世話係の負担が増えた。家庭や仕事の都合で難しい時には気軽に交代できる体制だからこそ、多くのボランティアが継続して参加していただいていると思う。参加しやすい体制を継続するためには、細やかな連絡調整は不可欠である。お世話係の人数を増やし、連絡調整の負担を軽減したい。 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティアの勧誘活動に熱心に取り組んだからこそ、ボランティアが集まり、活動を充実することができたため、次年度も積極的な勧誘活動を実施する。 ● 子どもたちは毎週読み聞かせを楽しみにしてくれていた。次年度も同様の活動を継続していきたい。 	
4. 要望・その他	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (益城町立益城中学校)	児童生徒数 (830) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円 単P その他	(支出) 50,000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容 補助金を活用して行った活動は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①食育コーナーの設置 (食事の大切さを解説した本の展示) ②図書委員おすすめ図書コーナー (本を展示できる棚の設置) ③書棚面だしディスプレイ (手に取りやすいようおすすめの本を面だしして展示) <p>その他 ボランティアによる飾り付け、ボードゲームイベント、スライドショー、ボードゲームの貸し出し</p>	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館内の環境整備により、明るく利用しやすい雰囲気になった。また、テーマがわかりやすいコーナーの設置で生徒が本を手に取りやすくなった。 ・複数のボランティアが学校図書館で活動することで、先生以外の大人との関わりを持つ機会になった。 ・学校図書館が活性化して、本の貸出冊数も増えた。 	
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが協力して、図書館の雰囲気は良くなり利用者数も増えたが、もっと生徒主導の活動を増やしても良かった。 ・生徒自身に図書室に何が必要かアイデアをだしてもらっている他校の実践を中間発表で聞いた。予算の使い道を決める際には参考にしてみたい。 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとに定期的にコーナーを入れ替えて、本を手に取りやすい工夫をする時、生徒を飽きさせない工夫をしていく。 ・生徒自身が図書室を活性化するアイデアを出し、それをボランティアと一緒に実現できるようなサポートをしていく。 	
4. 要望・その他	
<p>どうしたら生徒がいきいきと楽しく利用できるか、図書室についてたくさん考える一年になった。来年度以降も継続できると良いと思う。</p>	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (走潟小学校)		児童生徒数 (92) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P	50000円	(支出) 備品購入
	単P	0円	(チラシ印刷費13437円を含む)
	その他	0円	情報共有アプリ
	合計	50000円	図書購入費
			合計
			44279円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
①朝の読み聞かせ活動			
②情報共有、活動推進のためのスマホアプリ「サークルスクエア」の導入			
③本(図書室)への興味を持たせるための活動			
◎成果			
①朝の読み聞かせ活動 保護者・地域の皆様といっしょに読み聞かせサークル「おひさまクラブ」の活動を復活させて、月に2回(第1,3火曜日)程度、授業前朝活の時間10分間を使って、全クラスに対して読み聞かせ活動を実施しました。 (読み聞かせを再開するにあたってデモ活動を前年度に2回実施)			
○活動実績：5/21～3/18計15回実施(うち2回は今後実施予定)。(別紙チラシ参照)			
○会員数：38名(うち地域参加6名)			
※活動の様子や、詳細は添付のチラシ資料をご参照ください (このチラシは、走潟地区の全住民に配布予定のチラシです)			
②情報共有、活動推進のためのスマホアプリ「サークルスクエア」の導入 会員管理や、読み聞かせスケジュール管理等をより円滑に進めるために、スマホアプリ「サークルスクエア」を導入して運営予定でしたが、今年度は初年度ということで無料版を利用。使用を確認した結果、来年度以降は有料版導入予定。 ただし、走潟小学校校区内全体へのオンラインでの情報共有は難しいため、HPと並行してチラシを作成し、配布を実施しました。			
③スタンプラリーを実施予定でしたが、本年度準備が間に合わず実施できませんでした。備品等の購入は済みしましたので来年度実施しようと計画中です。 (お気に入りの絵本を見つけてもらうために本を借りたらスタンプを押してもらい、9つのスタンプが揃ったら手作りのシオリをプレゼント予定) また、今後も定期的に絵本の寄贈ができるように本棚と移動式本棚を設置し読書スペースを確保しました。読み聞かせ活動に使用した本の紹介や次回の読み聞かせ活動の日程を記したボードもスペース内に掲示させてもらっています。			

◎反省

活動全体としては、保護者や地域の皆様のご協力のもと、月2回の頻度で計15回の読み聞かせ活動を実施することができました。これは、昨年度のデモ活動を経ての本格的な再開であり、多くの児童に良い影響を与えられたと考えております。また、会員数も38名（うち地域参加6名）と、多くの方にご参加いただきました。

一方で、反省すべき点もあります。

第一に、情報共有および活動推進のために導入を予定していたスマホアプリ「サークルスクエア」についてです。今年度は初年度ということもあり無料版を試験的に利用しましたが、十分な活用ができていたとは言えません。来年度は有料版を導入する予定ですが、より効果的な運営のため、会員の皆様への説明や活用方法の明確化が必要であると感じました。

第二に、スタンプラリーの実施についてです。本年度内に準備を整え、実施する予定でしたが、スケジュール管理が不十分であり、実施には至りませんでした。備品の購入は済んでいるものの、計画段階での調整が遅れたことを反省し、来年度こそスムーズに進められるよう、早めの準備を行いたいと考えております。

3. 今後の取り組みについて

コロナ以前に活動をされていました地域の活動を今年度よりPTAが主体で引き継いで活動を再開致しました。会員の募集から。とほぼゼロからの出発でしたが、予定していた読み聞かせ活動の日程を完了することができそうです。手探りでの再開のため至らない点も多くありましたが、今後は活動の定着と継続のために、計画的な運営、情報共有の工夫、会員間の連携強化に力を注いで、特に、地域の方々とさらに協力し、より多くの児童が参加しやすい環境を整えていこうと思っております。

今回の反省を踏まえ、来年度はより充実した活動を行えるよう努めてまいります。

4. 要望・その他

領収書は別途添付

おひさまクラブ

走潟小学校 読み聞かせプロジェクト



報告 現在の会員数：38人
(うち地域参加6人)

今年度の活動：2024年 5月21日 『おひさまクラブ』
6月4日、6月18日 以前に活動されていた
7月2日、7月16日 クラブの名称を
9月3日 引継ぎさせていただきました
10月1日、10月15日
11月19日
2025年 12月17日
1月21日
2月4日、2月18日
3月4日、3月18日



外部イベント等への参加

- 2024年1月25日 令和5年度 宇土市主催読み聞かせボランティア養成講座(5名参加)
- 2024年2月6日 宇土市主催読み聞かせボランティア養成講座(5名参加)
- 2024年6月26日 令和6年度 ふれあい読書研究会(県下16校)
- 2024年7月8日 令和6年度 宇土市主催読み聞かせボランティア養成(6名参加)



子どもたちも
読書も楽しいです

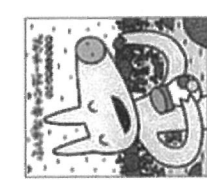
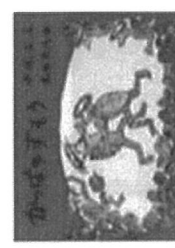


問い合わせ：0964(22)0315(事務局 走潟小学校PTA)
走潟小学校 電話番号「読み聞かせの件で」とお伝えください
担当が折り返しご連絡いたします

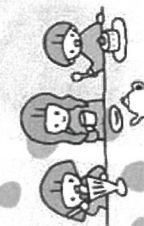
読み聞かせ活動に
興味のある方は
こちらから



これまでに読んだ本の紹介




これまでに読み聞かせした本の一部を紹介합니다
本は自宅にあるもの、市の図書館や小学校図書館で選んできたもの、
学校図書に選んでもらったものなど、季節やイベント、そして
子どもたちからリクエストももらったものを読み聞かせしています
紹介した本以外にも、走潟小学校の卒業生が
作った本や地域の方が作った本を題材にした
紙芝居も読み聞かせしました
また、ほかの学年ではどんな本を読んでもらったか
わかるようにお知らせボードを作りました
読み聞かせした本を図書室に探しにくる子どもたちも
いるそうなので、日本をめぐりまわって作りました
うれしいです



ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (天草市立佐伊津小学校PTA)	児童生徒数 (161) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円	(支出) 50,000円 図書 49720円 備品 280円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>本校では、児童の読書活動を推進するために、週末読書や地域の方々による読み聞かせを毎週実施している。特に、本校の読み聞かせボランティアグループ「たまたま箱」は長い歴史があり本校の児童の健全育成に寄与してきた。本校では読書活動の推進のために、これらの活動のほかにノーメディアデーを毎月設定し、親子読書を推奨している。</p>	
<p>◎成果</p> <p>本校の読み聞かせボランティアグループ「たまたま箱」のみなさんの活動の助成になればと読み聞かせ並びに児童用の図書を購入した。毎週金曜日の朝に実施される読み聞かせの時間に、新しい図書が購入されたことで、児童の興味・関心が高まるとともに読み聞かせのみなさんにとっても本選びに困らず、読み聞かせにスムーズに移行されることに繋がった。この熊本県PTA連合会からの助成により本校PTA会長が読み聞かせの会員になられ、男性ボランティアも増加しつつある。</p> <p>新しい本の増加により、児童の図書室利用とともに貸し出しも増加している。今後も児童の興味・関心や学習との関連等、良書の選定を進めますます意欲を高めていく。</p>	
<p>◎反省</p> <p>毎週実施していただいている読み聞かせでは、年度末にお礼の会として児童会で企画する児童発信の場はあるが、毎回のなかでの双方向での児童、ボランティアの方々とのやり取りはなかった。今後は児童からのフィードバックの機会を設け、互いに交流しながら選書や読み聞かせを行えるとよいと考えている。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
(1) PTA新聞におけるファミリー読書の取組紹介による啓発活動 (2) 一人一台タブレット端末の活用による読書活動啓発 (読書郵便、読書紹介等) (3) 読み聞かせボランティアのメンバー拡充と設定時間の工夫 (4) 児童会の活動に読み聞かせを設定し、ボランティアの方々との交流を行う。	
4. 要望・その他	
○PTAの文化委員会の活動のなかに「ファミリー読書」を取り入れ、家庭ぐるみの読書活動をさらに進めていきたい。	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名（本渡南小学校PTA）	児童生徒数（408）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
（収入） 県P 50000円	（支出） 50000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>①朝の読み聞かせ（毎月第3火曜日）</p> <p>②図書室の環境整備</p> <p>③図書委員会児童への委員会活動支援</p>	
<p>◎成果</p> <p>①について</p> <p>PTAを中心とした地域読み聞かせ団体「本渡南マザーグース」が毎月1回、朝の読み聞かせを実施しており、児童が本に親しむ時間になっている。コロナ渦で休止していた時期もあったが、昨年度から本格的に活動を再開した。今回の補助金で読み聞かせメンバー全員の名札を購入した。久々に活動を再開した事もあり、学校に集まった時に誰がメンバーであるのかお互いに分かるようにした。そして名札がある事で児童も「今日も〇〇さんが来てくれた。」「〇〇さんが持ってくる絵本はいつもおもしろいです。」と読み聞かせや絵本のことだけでなく、地域の方々との良いふれあいのきっかけになっているようだった。</p> <p>②について</p> <p>本棚の増設、本棚の簡易修理として、また日頃の学校の予算では購入が難しい消耗品類を中心に補助金を使わせていただいた。特に消耗品は、100円均一の安価でたくさん購入できる便利な商品や、プラスチック段ボールなどをホームセンターで購入し、有効活用した。具体的には、本の紹介コーナーを作り替えたり、本の背しか見えなかった本棚のところに、表紙を見せて飾ることができる場所を作ることができた。本の紹介をすることや、本の表紙をより見せる事で貸出増加に繋がった。</p> <p>③について</p> <p>図書委員会は読書まつりやクラス対抗読書クラスマッチなど、児童で各学期ごとに読書の取組を企画し実行している。今年初めて開催したオリジナルしおり作りという取組が盛り上がった。材料は学校の画用紙や折り紙の端材を中心に、職員私物のクラフトグッズを借りるなど、あるものを活用して作っていたので、補助金からクラフトパンチやクラフトハサミなどのしおりを作る時に便利なグッズを購入した。これらのグッズは今後、図書委員会の備品として児童の活動で活用していきたい。</p>	
<p>◎反省</p> <p>①について</p> <p>活動再開2年目の今年度でやっと朝の読み聞かせのスタイルが整ってきたと思う。メンバーの方は代表を中心にもいつも全クラスに入れるよう調整して来てくださるので、これからも絵本と交流を楽しむ時間として活動を大事に続けていきたい。</p> <p>②について</p> <p>学校司書が常駐から兼任に変更となり、展示掲示が以前のように手の込んだものがなかなか出来ないところもある。今回の補助金で修理をしたり購入した便利なグッズを使いながら、時間がなくても手軽に学校図書館を魅力的に演出して行って欲しい。</p>	

③について

毎年、意欲的に自分たちで学校図書館と読書を盛り上げようと活動できる児童たちである。今回は児童たちにも消耗品ではなく、しばらく活動で使えるものを購入した。これをきっかけに来年度もまた楽しい企画を考えて活動に活かしてほしい。

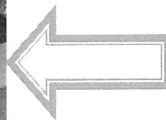
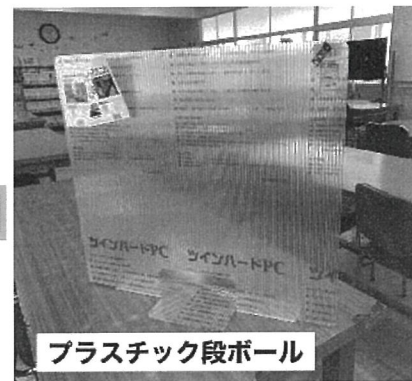
3. 今後の取り組みについて

本年度は昨年度よりも貸出量が増加し、図書委員会主催の読書まつりもとても盛り上がった。児童総会では本の紹介や放送でのブックトークなどもっと本と出会うきっかけがほしいという意見も多く、全体的にも読書に関心が向いて来ていると考えられる。学校司書、学校職員、図書委員会のおすすめ本、読み聞かせボランティアの方が読まれた本の紹介などを来年度に行っていきたい。

課題としては、読書量は増えたが本を読む児童と読まない児童の差は大きい。県や市の電子書籍が自由に読めるようになり学校図書館から足が遠のいた児童もいる。学校図書館の雰囲気作りと、少しでも関心を持ってもらえるような取組をこれからも学校で企画し実行していきたい。

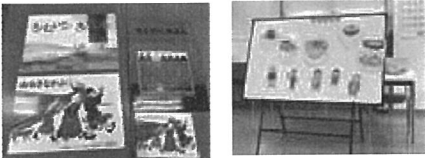

4. 要望・その他

写真をアップいたします。



ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (天草市立倉岳小学校)		児童生徒数 (70) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 50,000円 単P その他	(支出)	大型絵本 (3冊) 31,680円 パネルシアター 4,070円 図書室備品他 14,250円 <hr/> 合計 50,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容 ・朝のよみきかせ：月二回程度 クラス単位 地域のよみきかせグループによる絵本読み聞かせ ・パネルシアター上演 ・図書室の備品整備：図書室に行きたくなる・本に触れたい環境の整備			
◎成果 【よみきかせ・パネルシアター】 大型絵本を初めて購入し、朝のよみきかせで活用できた。コロナ禍以前に行われていたパネルシアター上演会を6年ぶりに開催することができた(3/4開催予定)。 			
【備品購入】 図書室の展示用備品や入口に設置する案内板などを購入し、本を手に取りやすい環境をつくることができた。コードレスのスキヤナーを購入し、図書委員や司書の作業効率化につながった。 			
◎反省 本助成金の活用に関して対応が遅くなり、12月以降に整備・導入となり十分に活用する機会が少なくなりました。助成金申請や手続きに関してもノウハウを引き継ぎ、継続して活用できるよう働きかけたい。			
3. 今後の取り組みについて			
初めて大型絵本やパネルシアターを図書室に整備することができた。今後授業の導入などでも活用してもらえよう教職員や保護者にも紹介していきたい。 今後も学校・保護者・地域と連携して、子どもも大人も読書に親しめる環境づくりをPTAでも継続して推進していきたい。			
4. 要望・その他			
今回ふれあい読書研究会活動の委嘱を受けたことで、例年になく活動や読書環境の整備を行うことができ、大変感謝しています。五万円というまとまった金額でしたので、思い切った予算を組むことができました。 また、他校の取り組みを知ることができた事も大変参考になりました。今後の読書推進活動に役立てていきたいと思っています。			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (八代市立太田郷小学校PTA)	児童生徒数 (787) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円 単P 4,400円 その他	(支出) 34,310円 棚購入 16,130円 図書室整備費 <hr style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/> 50,440円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 ・蔵書点検 夏休み期間中に教職員の方々と保護者(図書係)で実施する。 ・ブラックパネルシアター 外部講師「子羊文庫さん」によるブラックシアターを実施する。 ・読み聞かせ 11月の読書月間に合わせて昼休みに保護者(図書係)による読み聞かせを実施する。 ・絵本架など棚を購入する。	
◎成果 ・蔵書点検を行うことで図書室の環境がわかり、棚の清掃や本の修繕まで出来た。 ・昼休みに保護者や図書委員児童による読み聞かせ活動を行うことで本に興味を持つ児童が増えた。 ・購入した絵本架は表紙がよく見えて児童が本を手に取りやすくなった。	
◎反省 ・コロナ禍で休止していた読み聞かせの活動を数年ぶりに再開したが、参加者の確保が難しく、参加者をどう集めるかが今後の課題となった。	
3. 今後の取り組みについて	
・学校、保護者、地域の方々と連携して取り組めるような活動を計画していく。 ・図書室を児童が利用しやすい環境に整えていく。	
4. 要望・その他	
要望は特にありません。本年度は、ふれあい読書研究会の対象校に委嘱していただき心より感謝いたします。	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名（ 人吉市立第一中学校 ） 児童生徒数（ 376 ）人
1. 予算執行状況（収入・支出）
（収入）県P 50,000円（支出）47,910円（ラミネーター購入）
2. 活動内容・成果・反省
◎活動内容 ・2ヶ月に1回、朝自習の時間（8時15分から8時30分）を利用し、地域のボランティアの方々による、読み聞かせを行っている。 ・PTAと図書委員会とが連携して、生徒と保護者が一緒にできる図書イベントを企画する。 ・子どもがもっと利用したくなるような図書室整備を今後も継続して行う。
◎成果 ・地域のボランティア（わくわくサポーター）の方々が来校されることで、生徒たちは授業とは異なる気持ちで、のぞむことができている。また、読み聞かせを重ねることで様々な本との出会いがあり、読み聞かせ後は友人たちと本について感想を交流することができている。 ・PTAと図書委員会とが連携して、生徒と保護者が一緒にできる図書イベント「BOOK FESTIVAL」を開催し、図書館利用の推進につながった。
◎反省 ・読み聞かせを行っているが子どもたちからの反応を確認することなく終わってしまっている。感想等引き出すような取組が必要である。 ・多くの地域の方との交流ができる機会をつくっていききたい。
3. 今後の取り組みについて
・図書館の環境の充実のため、図書館担当職員、図書委員会を中心に新書や話題の出版物などが子どもの目につき、生徒が図書室の本に触れ、読書量が増えるように書架台が付いた本棚を設置したい。 ・今回購入したラミネーターを活用し、読書しおり作りや環境美化に取り組んでいきたい。
4. 要望・その他
・今年度、活動に対して助成していただき大変感謝しております。今後もこの事業を活用させていただきたいと思っております。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名（あさぎり町立岡原小学校PTA（読み聞かせの会）） 児童生徒数（109）人

1. 予算執行状況（収入・支出）

(収入)	県P	¥50,000-		(支出) 内訳	児童用図書等	¥50,000-
	単P	¥0-				
	その他	なし				

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

①PTA読み聞かせの会の活動

毎月第2木曜日（4, 8月を除く）の朝の時間（8:15～8:30）に保護者及びOB有志による読み聞かせを各学級で行っています。また、今年度から近隣の2つの保育園・こども園にも協力していただき、保育園の先生方にローテーションで読み聞かせをしていただいています。



PTA 読み聞かせの活動

②図書室の取り組み

常時活動

- ・チャレンジ読書の実施をしています。
- ・各学年の目標冊数を設定し、それに合わせたスタンプラリーを実施しています。
- ・くまもとe-book（電子書籍）を導入しました。

図書旬間や図書月間の取り組み

- ・季節の本の紹介や児童・教職員のおすすめの本の紹介を一覧にして掲示しました。
- ・図書旬間や図書月間に合わせて季節のスタンプラリーを実施しました。
- ・親子読書を実施しました。
- ・教職員や図書委員による読み聞かせを実施しました。

環境整備

- ・季節に合わせた設営
- ・季節によって図書室の飾りを変えることで、児童への啓発を実施しました。

その他

- ・推し本の紹介をしています（学校HPに掲載）。
- ・KKTの「おとどけえほん」を利用し、アナウンサーによる読み聞かせを実施しました。



おすすめ本の紹介



図書委員による読み聞かせ



季節に合わせた環境整備

◎成果

- ① P T A の読み聞かせ活動は、毎回児童がとても楽しみにしていました。また、保育園の先生に来ていただくときは、その学年を担当したことがある先生が来てくださり、児童にとってすてきなサプライズとなりました。毎回、とてもよい雰囲気で行われており、自分で読むことが苦手な児童もよく聞いていました。また、読み聞かせの会の方も「読み聞かせに来た日は元気が出る」と意欲的に活動してくださいました。
- ② 図書館の取り組みでは、チャレンジ読書の実施により、定期的に本を借りに来る児童がいます。また、図書旬間や図書月間では、多くの児童が利用し、貸出冊数も増加しました。
- ③ 読み聞かせで使用する本や紙芝居が少ないので、今回の予算で大型絵本等読み聞かせで活用できる本等を増やすことができます。
- ④ 今年度、委嘱をいただいたことで、読書活動に対して教職員や保護者の意欲につながりました。K K T の「おとどけえほん」では、今後の参考にしたいと P T A 読み聞かせの会のメンバーも参加いたしました。

◎反省

読み聞かせの会の会員数が減少しており、各学級での実施が難しくなると考えられます。これから、読み聞かせに興味をもっている保護者や地域の方に協力をお願いし、続けられるようにしていきたいと考えます。

3. 今後の取り組みについて

- ① P T A 読み聞かせの会の活動
大型絵本や仕掛け絵本を使って、読み聞かせを実施する予定です。
- ② 図書室の取り組み
押し本（おすすめの本）を H P に紹介するための活動を始めました。まずは図書委員の児童や教職員から始め、後に全校児童や保護者、地域の人からの紹介と範囲を広げていこうと考えています。

4. 要望・その他

本校にとって、大変貴重な予算となりました。新たに購入した大型絵本で引き続き、読み聞かせ活動を続けていきます。今年度、委嘱をいただいたことで、読書に関して様々な取り組みを行おうという意欲がわき、活動することができていました。ありがとうございました。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (五木村立五木東小学校)		児童生徒数 (23) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 単P その他	(支出)	本の購入 11,660円 紙芝居舞台 24,860円 ブックエンド 4,488円 展示スタンド 1,936円 読み聞かせスタンド 6,600円 ファイル 253円 手数料 203円 合計 50,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
①PTA家庭教育委員と地域ボランティアの方による読み聞かせ (毎月1回 20分間) ②地域に伝わる昔話の読み聞かせ (「五木村宮園の昔話」 五木村の文化と歴史) ③「読み聞かせコーナー」作り (図書館に設置) ④「おすすめの本」紹介 (学習環境委員会・PTA家庭教育委員会・学校の職員・地域の方) ⑤「おすすめ100選」の取組 (学習環境委員会による活動)			
◎成果			
①読み聞かせの日を楽しみにする児童が増え、この時間は静かに集中して聞くことができるようになった。また、読み聞かせに来られる保護者や地域の方とのコミュニケーションの時間を増やすきっかけとなった。 ②紙芝居を読む児童が少ないので、童話や昔話などにふれるよい機会となった。 ③読み聞かせで読んでいただいた本を図書館に紹介することで他学年の児童への啓発になった。 ④おすすめの本を紹介したことで紹介されている本を借りる児童や興味の低かった本にも目を向けるようになった。 ⑤学習環境委員が掲示物を工夫し増やしたことで児童の関心を高め、読書の幅を広げることができた。			
◎反省			
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の協力が少なかったため、協力いただける方への負担が増えてしまった。 ・図書館利用に児童の個人差があり、関心が低い児童に対し意欲を喚起させる取組を充実させることができなかった。 ・読み聞かせ活動への保護者の関心を高めるための啓発活動が不十分であった。 ・ボランティアの皆さんの読み聞かせへの感想や意見を聞く時間が確保できていなかった。 			
3. 今後の取り組みについて			
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭読書の推進をはかり保護者の意識を高める啓発活動を行っていく。 ・読み聞かせで読んでいただいた本や紙芝居を児童に紹介し、関心を高めていく。 ・読書月間や読書週間を活用して、学習環境委員会で新刊やおすすめの本などの紹介をして図書館利用の促進を図っていく。 ・協力者からの意見を次年度に生かしていくために、スマートフォン等からアンケートに答えていただく工夫などを行っていく。 			
4. 要望・その他			
他校の事例を紹介していただいたり聞いたりすることで読書活動の推進の参考になりました。是非これからもこの活動を続けていただきたいと思います。			

ふれあい読書研究会

令和7年3月19日発行

熊本県PTA連合会

会	長	山口 法子
家庭教育担当副会長		橋本 昭
家庭教育委員長		池 裕子